

地学オリンピック支援委員会

第2回議事録

2011年5月30日
委員長 田中 義洋

期 日：2011年5月22日（日）16：00 - 17：00
場 所：幕張メッセ国際会議場
出 欠：出席者7名、委任状3名で、委員会は成立

議題

- 1)国際地学オリンピックの状況説明
- 2)国際地学オリンピックシラバスの検討
- 3)地質情報展の企画立案
- 4)今後の広報活動

詳細

1) 国際地学オリンピックの状況説明

久田委員から以下の2点が報告され、本委員会としては、今後も国際地学オリンピックを支援する活動を続けることを確認した。

- ① 6月12日のNPO法人地学オリンピック日本委員会総会において、第6回国際地学オリンピック日本大会の返上が正式に決定する見込みである。
- ② 第6回国際地学オリンピック自体は他国開催する方向で調整が進んでいる。

2) 国際地学オリンピックシラバスの検討

5つの検討課題に対するこれまでの議論を総括し、第1報としてとりまとめた（別紙参照）。シラバスに具体性を持たせるため、日本で入手可能な英語版の地球科学に関する参考テキストを提示する方向で調整する。

3) 地質情報展の企画立案

より多くの高校生や一般の方に国際地学オリンピックの活動を知ってもらえる企画を考える必要性を確認した。

4) 今後の広報活動

3)と関連して、国際地学オリンピックのPR活動、その中でも受験者や地学に興味を持っている生徒を励ます取り組みに関して意見交換を行った。今後、裾野を広げるために、国内予選の成績返却時のコメントを改善したり、検定試験のような段階的に力試しを行えるシステムを考案していく予定である。